

<p>伝道弟子 オリブ山の弟子たち (使徒 1:12-13)</p> <p><b>*序論-使徒 13、40日</b></p> <p>◆伝道弟子を簡単に言うとき使徒 1:12-13 節の弟子たち「オリブ山の弟子たちだ。</p> <p>(1)オリブ山の 40 日をすべての生活に適用をさせなさい。</p> <p>(2)分類- 人を訓練させる時、分類して活用しなさい。</p> <p>1)備えられた弟子- 1 年間だけ毎日伝道に関するフォーラムを分かち合うのだ。</p> <p>2)葛藤が多い者- また葛藤多い人にはミッションを与えるのだ。今から多くの問題の中に神様の祝福が何かを 1 年間探し出してみなさい。</p> <p>3)完全に崩れた者- ここには時刻表に従って一段階、一階段、メッセージを与えて解決するようにしてあげるのだ。</p> <p>(3)伝道- 伝道弟子はイエス様が 40 日間なさったことの中で、どこにカギを合わせなければならぬかと言え「伝道」に合わせなければならぬ。</p> <p>◆本論- 伝道弟子の場合には、すべてのカギを「伝道」に合わせてフォーラムしなければならぬ。その人を弟子にすることは使徒 1:3 節がなければならぬ。40 日間神の国のことを話された。</p> <p><b>1.確定された人々</b></p> <p>(1)マタイ 16:16、マタイ 28:16-20、使徒 1:1-8、この人々に神の国のことを 40 日間説明した。</p> <p>(2)3 つの今日- みことば、祈り、伝道として今日を守る人々であり、3 つの今日を作り出す人々だ。</p> <p>(3)未来(使徒 2:17)- だからこの人々に確かな未来を見せてくださった。(使徒 2:17)</p> <p>◆このようになると、伝道弟子が見た業務がある。</p> <p><b>2.見る業務(地域を見ること)</b></p> <p>(1)使徒 1:14、地域を見る人々が集まったのだ。10 日間、使徒 2:9-11、15 カ国の門がぱっと開かれる。</p> <p>(2)使徒 2:17 未来が見え始めて、使徒 2:41 3 千の弟子が集まった。</p> <p>(3)使徒 17:2 三つの安息日、I テサロニケ 1:7 マケドニア、アジアに模範になった教会と言った。</p> <p>(4)使徒 19:9-10、2 年間集中的に伝道運動をはじめた。このとき、神様のくださった答えが使徒 19:21、ローマ見なければならぬ。</p> <p><b>3.本当の答えが来はじめ</b></p> <p>(1)使徒 2:1、五旬節の日になって(当然性)</p> <p>(2)使徒 2:17、将来の事を言って、夢を見て、幻を見る(必然性)</p> <p>(3)使徒 2:42、使徒の教えを受けて、交わりをして、パンを裂き、祈りに専念して(絶対性)</p> <p>◆五旬節の日の答えは神様がくださったと約束されたから、当然来るのだ。その時から目が開かれる。必然性。その時から、いのちをかけることができる。絶対性</p> <p><b>*結論-40日、神の国のこと→私の24時で。</b></p> <p>(1)すべての人がこの祝福につながる。見る。</p> <p>(2)すべての現場- すべての現場で見る。</p> <p>(3)すべての事件- すべての事件がすべてこれと連結する。</p> <p>◆この 40 日をどのように適用するのか。私が教会へ行って誠実に、着実に献身していれば、人が集まる。そうすれば、人にして分けてメッセージで手伝ってあげて、そうしていたら、弟子が出る。そうすれば、この人々を連れて「伝道」に対する確認をするのだ。必ず今日からこの目が開かれるように願う。</p>	<p>70 人: 重職者の現場「現場地教会」(改革)</p> <p><b>*序論-カ、現場</b></p> <p>◆私たちは現場にいる。現場が一番重要なのが私に本当に神様がくださる力を得なければならぬことだろう。神様が願われる現場で私が方向が正しいならば必ず現場にみわがが起きる。</p> <p>(1)使徒 1:14、実は危ない現場だった。</p> <p>(2)使徒 7:1-60、使徒 11:19 大きい迫害がやってきた。</p> <p>(3)使徒 12:1-25、初代教会を完全になくすと言った。このとき、完全に重職者中心に集まって祈った。</p> <p>◆それでは、初代教会の重職者たちはおもに何をしたのか。現場を生かす地教会をしたのだ。</p> <p><b>1.使徒 13、40日-神の国の事</b></p> <p>◆イエス様が 40 日間神の国の事を説明された。これが三カ所に連結する。使徒 1:14、使徒 2:42 聖日、使徒 2:46 毎日、現場で連結するようになる。初代教会の重職者は-</p> <p>(1)聖霊体験をした。</p> <p>(2)神様のみわがを見るようになった。</p> <p>(3)神の国- みことばが答えで来る。</p> <p>◆イエス様が 40 日を説明されたが、私たちが見つけ出す事ができなければならぬ。</p> <p><b>2.重職者の現場</b></p> <p>(1)使徒 2:9-11、神様が 15 カ国の門を開かれた。</p> <p>(2)使徒 2:41、とても邪魔されたのに 3 千弟子が起きた。</p> <p>(3)使徒 6:7、神様のみことばがエルサレム全域で起きた。</p> <p>(4)使徒 9:10、15、アナニヤ、この人はまさしく重職者に相当する。この人が地教会をしていたが、時代を動かす新しい言葉パウロをここに付けられた。</p> <p>◆神の国が臨むようになるのだ。現場を正しく生かすことができる重職者現場を作りなさい。</p> <p>(5)使徒 9:36-43、女弟子タビタだ。</p> <p>(6)使徒 10:1-6、皮なめしシモン</p> <p>(7)マケドニア- このようにつづつ重職者の現場が出る。</p> <p>◆ここで五つ大きい改革が始まるのだ。</p> <p>①教会改革 ②現場改革 ③文化改革 ④時代改革 ⑤宗教改革</p> <p><b>3.世界福音化</b></p> <p>◆重職者を通じて世界福音化の大きい門が開かれる。これが重職者現場で起きたのだ。今からは実際に専門家たちの中、実際に現場へ行く専門家たち中心に重職者を立てなければならぬ。それでこそ現場を生かすことができる。</p> <p>(1)ローマ 16:25-27 (2)コリント 16:14-24</p> <p>(3)コロサイ 4:7-18</p> <p><b>*結論</b></p> <p>(1)一番良心的に、福音的に献身したら可能だ- 今、黄金魚場が全部、死地帯、災い地帯になった。彼らを生かさなければならぬ。</p> <p>(2)マタイ 6:33、あなたたちまず、神の国とその義とを求めなさい。そうすれば、すべてのことに加えてくださる。心配は全然なくても良い。</p> <p>(3)ピリピ 3:20、私たちの国籍は天にある(天国、神の国)</p> <p>◆みなさんを通じて全世界福音化、これからレムナントを通して驚くべきことが起きようになるだろう。</p>	<p>ミッションホームミッションホーム</p> <p><b>*序論</b></p> <p>◆今まで初代教会以外に教会でミッションホームという契約をよく握ることができなかった。そうしたら、宣教団体がミッションホーム運動が起きて、世界福音化するのに多くの手助けになった。</p> <p><b>1.宣教団体</b></p> <p>(1)長所</p> <p>1)すべての出会い(現場)- すべての会う人には福音を伝えることを原則にしている(現場)。</p> <p>2)弟子(家)- この中で信じる人が出れば弟子にするのだ。</p> <p>3)派遣- この弟子たちを訓練させて確立させて、自分がする事をまったく同じくするように派遣(再生産)。</p> <p>(2)短所</p> <p>1)無教会- 驚くべきことに、宣教団体が訓練を受けた人が教会へ来て適応できない。</p> <p>2)霊的問題- ほとんど霊的問題に対してタッチができない。</p> <p>(3)宗教団体</p> <p>◆このようななか、宗教団体がこのような部分を持ってたくさん起きた(フリーメイズン、チュンサン教、統一教)</p> <p><b>2.初代教会ミッションホームで起こったこと</b></p> <p>(1)ただ福音を強調</p> <p>◆福音を持って完全に答えを出したということになる。</p> <p>1)使徒 1:1-8 節には答え、結論、結果がすべて出ている。</p> <p>2)使徒 1:3 節の事がミッションホームでは必ずならなければならない。</p> <p>3)使徒 1:14、使徒 2:42、使徒 2:1-25、マルコの家だ。</p> <p>4)マケドニア- これがマケドニアに伝わりながら完全に家に入ってきた。</p> <p>(2)規律- 運動、黙想、専門性。</p> <p>(3)時刻表</p> <p>1)40 日- 40 日間、神の国の事を説明された。</p> <p>2)10- マルコの屋上に集まったが、ここにはおおよそ 10 日間集中して集まった。</p> <p>3)3 つの安息日- 使徒 17:2 節に見ると三つの安息日。</p> <p>4)3 ヶ月- 使徒 19:8 を見れば 3 ヶ月の間</p> <p>5)2 年- 使徒 19:9-20、2 年間、みことば運動に集中</p> <p><b>3.自分(証人として立つこと)</b></p> <p>(1)みことば- 神様が私にみことばで動かされたことをそのまま説明しなさい。ここで起きる聖霊の働きがどれほど大きなかを分かるようになるだろう。</p> <p>(2)祈り- 本当に感謝するくらい祈りの答えを話さなさい。神様がこのような状況の中にあるようにどうしてされたのか。正しい祈りが始まらなければならぬ。そのように多くの世代の中で、どうしてあなたが私と一緒にいるようになったのだろうか。神様がこの事を通じてみことばをくださったが、このような答えが来るようになったことは、何の意味だろうか。ここにはたがってレムナントをどのようにさせたかということが出る。子ども達に客観性があるように判断して、答えを受けようとしてあげなければならぬ。</p> <p>◆この二つが成り立つようになれば (3)番は自然になる。</p> <p>(3)伝道</p> <p>◆神様が今日、私に伝道という意味が何であり、どんなに実を結ぶようになるか。II コリント 4:5</p> <p>◆みことば、祈りを正しく適用すれば、伝道は単純な伝道ではないということが分かるようになる。伝道がすごい神様の愛の時刻表であること分かるようになる。このようなことがなるとき、いやしが起きる。</p>	<p>いやしの働きいやし</p> <p><b>*序論-使徒 1:3、40日</b></p> <p>◆初代教会で起きた使徒 1:3 節は事実上、いやしだった。なんのいやしなのか。</p> <p>(1)霊的いやし</p> <p>(2)無能のいやし</p> <p>(3)体質のいやし</p> <p>◆私たちがいやしを説明しながら、ここで少し説明しなければならぬ部分が続く。</p> <p><b>1.いやしの根本</b></p> <p>(1)神様の子ども- いやしよりもっと重要なのが神様の子ども。私が神様の子どもになつたら、いやしはその次の話だ。</p> <p>(2)聖霊の満たし- 神様が私に聖霊の満たしをくださるとうとする機会だ。</p> <p>(3)御名- 牧会者の祈りより重要なのが、あなた自分がイエス・キリストの御名で祈ることだ。</p> <p>1)身分- イエス・キリストの御名で身分を味わって</p> <p>2)権威- イエス・キリストの御名で権威を味わうのだ。</p> <p>◆優れることが問題ではない。私が神様の子どもとされた祝福をすぐ悟るのだ。そして神様が私に願われることは聖霊の満たしを受けることだ。私が影島へ行って、伝道運動をこれから(いやし-上の 3 種)した。とてもいやされるみわががたくさん起きた。</p> <p><b>2.21世紀の病氣</b></p> <p>◆伝道者は必ず覚えなければならぬ。21 世紀には-</p> <p>(1)心の病氣 (2)うつ病 (3)精神病</p> <p>◆多くの人々がこれを隠す。いやしの働きチームがプログラムを作る必要もある。</p> <p><b>3.集中いやし祈り</b></p> <p>(1)使徒 1:3、イエス様が偶然に 40 日間という答えをくださったのだろうか。</p> <p>◆使徒 1:14、イエス様が偶然に、ここに集まりなさいと言われたのか。</p> <p>使徒 1:8、イエス様がいらすに待ちなさいと言われたのか</p> <p>(2)集中</p> <p>◆ここで一番重要な部分が「集中」だ。私がどこで、だれに、何に集中するのかに決まらなくて、働きが起きる。だれに集中するかということだ。ここに従って、本当にいやしが起きるのか、起きないのかということだ。</p> <p>(3)生活- 継続</p> <p>◆そして、とても重要なのが三番目だ。正常な生活に戻って言って、祈りを継続することだ。</p> <p>◆ここに 40 日というカギはなにか。集中的に祈ることとは、神様を見上げることだ。「私」という意味を捨てるのだ。「私」という意味とは、傷を言う。必ず参考にしなければならない。みなさんが多くの答えを見つけて味わわなければならない。</p>
---	---	---	---